

安達太良山・沼ノ平火口における地磁気全磁力変化*

Variation of Geomagnetic Total Intensity at Numanotaira Crater, Adatarara Volcano

気象庁地磁気観測所

Kakioka Magnetic Observatory, JMA

気象庁では、安達太良山沼ノ平付近において1997年7月から全磁力繰り返し観測を、加えて1998年6月からは全磁力連続観測を、実施している^{1) 2)}。

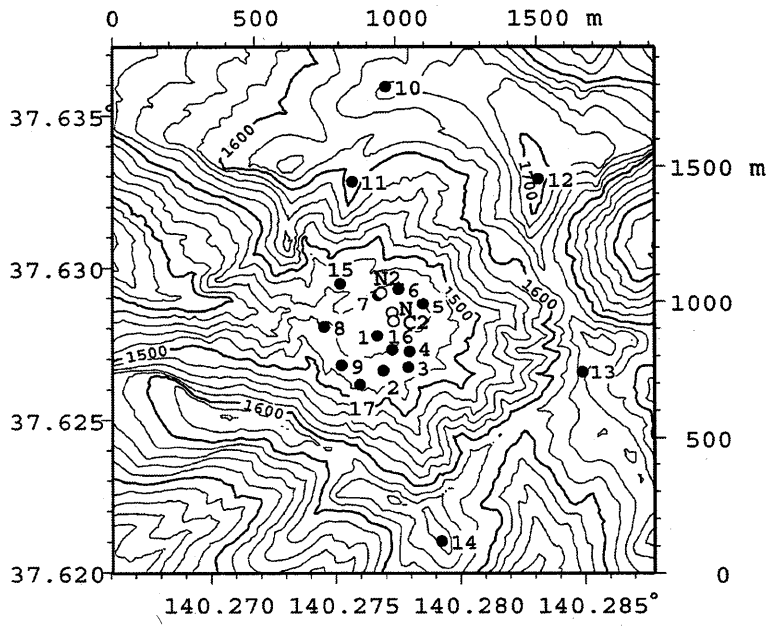
第1図に安達太良山沼ノ平火口付近における全磁力繰り返し観測点及び全磁力連続観測点の配置を示す。No. 1～No. 17が繰り返し観測点、C2、N、N2が連続観測点である。

第2図に1998年以降の参照点（沼ノ平火口西側約3km）を基準とした、連続観測の結果を示す。火口中央付近のC2では1999年の観測開始以来、全磁力の顕著な増加が続いていたが2002年7月頃から増加量が小さくなり、2003年6月頃よりほとんど横ばいとなっている。N点も同様な変化を示しており、ほぼ横ばい、またはわずかな減少となっている。火口北部のN2は、2001年からの減少傾向が継続している。それらから、2003年6月頃よりの全磁力変化は安定しており、静穏な火山活動が継続していると推定される。

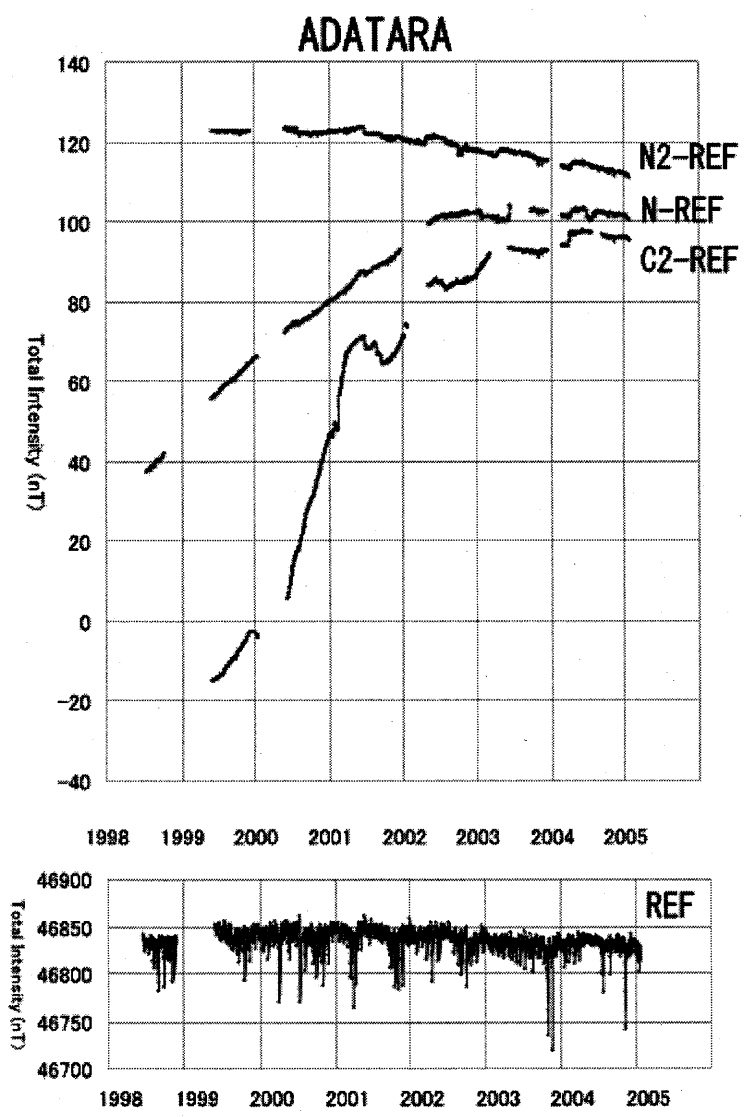
参 考 文 献

- 1) 気象研究所，地磁気観測所，気象庁火山課(1999)：安達太良山・沼ノ平火口の地磁気変化，火山噴火予知連絡会会報，72，64 - 67.
- 2) 気象研究所，地磁気観測所，気象庁火山課(1999)：安達太良山・沼ノ平火口の地磁気変化(2)，火山噴火予知連絡会会報，73，64 - 67.

* Received 22 April, 2005



第1図 全磁力連続観測点 (○) と全磁力繰り返し観測点 (●) の配置図。
 Fig.1 Location of continuous (open circle) and repeat (solid circle) stations of the geomagnetic total intensity.



第2図 参照点を基準とした各観測点の全磁力変化 (上図) と参照点の全磁力変化 (下図)。
 Fig.2 Variations of the difference geomagnetic total intensity between the reference point and each continuous station (top). Variation of geomagnetic total intensity at the reference station is also shown (bottom).